

まちづくりのデジタル・トランスフォーメーション実現会議

- ・コロナ禍を契機としたデジタル技術の進展やポストコロナの時代における「人間中心の社会」への機運の高まりを背景に、「デジタル田園都市国家構想」など、政府全体として、あらゆる分野でデジタル技術を活用し、地域や社会の課題を解決するデジタル・トランスフォーメーションの推進が求められている。
- ・こうした中、都市政策の領域では、PLATEAUをはじめとするまちづくりDX施策が展開されているが、現状、これらの施策を中長期的な観点から統合して推進するための計画は存在せず、各施策間の連携や市場からみた政策展開の予見可能性に課題がある。
- ・このため、PLATEAUをはじめとするまちづくりDXの中長期的な展開を議論するため、2022年4月から本会議を設置し、検討を進める。

1. 検討事項

(1) まちづくりDXにより実現すべきビジョン

- ・多様な暮らし方・働き方を支える人間中心のまちづくりの実現に向け、まちづくりDXにより目指すべき都市の在り方をビジョンとして示す。
- ・ビジョンを実現するための具体的な施策が考慮すべきまちづくりDXの共通原則を定義する。

(2) 重点取組テーマ

- ・まちづくりDXが目指すべき都市の在り方（ビジョン）を実現するため、2030年を目途に重点的に取組む施策を整理する。

(3) ロードマップ

- ・重点取組テーマに基づき推進すべきまちづくりDX施策のロードマップを策定する。

2. スケジュール（予定）

- ・第1回 4月 7日（木） ⇒ 基本的方針の提示
- ・第2回 5月12日（木）
- ・第3回 6月 7日（火）
- ・第4回 7月 7日（木） ⇒ 最終とりまとめ

3. 会議メンバー



出口敦
東京大学大学院社会文化環境学専攻 教授



古橋大地
青山学院大学地球社会共生学部教授



瀬戸寿一
駒澤大学地理学科准教授



吉村有司
東京大学先端科学技術研究センター特任准教授



齋藤精一
パノラマティクス主宰



水野祐
シティライツ法律事務所パートナー



重松真理子
（一社）大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会都市政策部会長



若井太郎
東京都デジタルサービス局デジタルサービス推進部データ活用担当部長



宇野善昌
国土交通省都市局長

4. 会議の進め方

- ・会議メンバーはオンサイト、それ以外のオブザーバ参加者、傍聴者等はオンライン参加のハイブリッド形態で開催予定。
 - ・会議の様子はウェビナー形式で一般公開予定。
- ※開催案内、参加方法等は追って国土交通省ウェブサイト等でお知らせします。